

使い方

① 犬/人 切替えスイッチで、設定を選択します。

左: 犬用 右: 人用

※犬と人では判定基準が異なりますので、かならず使用する対象に設定を合わせてください。

② 表示ボタンを押して、「表示モード」にします。

表示ボタンを押すと「表示モード」となり、10秒間、画面とLEDが表示・点灯します。

「表示モード」のまま10秒間ボタン操作を行わないと、自動的に「モニタリングモード」になり、画面が消灯します。

「モニタリングモード」は、電池の消耗を抑えるため、画面表示が消えLEDの点灯パターンが変わりますが、測定は継続している状態です。

お使いになる際は、「モニタリングモード」で、常に測定している状態にしてください。

③ モニタリングモードのとき、警戒度が高い状態になると、ブザーが鳴ってお知らせします。

ブザーは10秒後に停止しますが、その前にブザーを止めるときは表示ボタンを押してください。

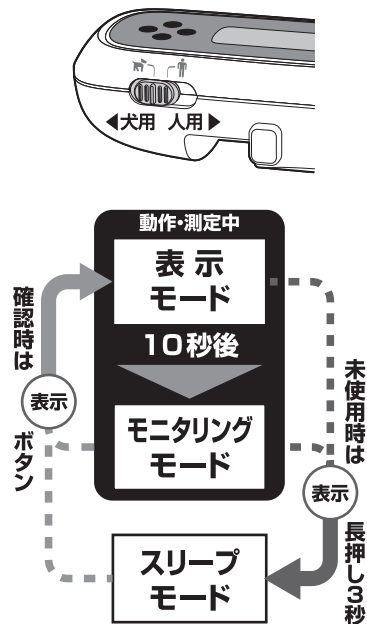
ブザーを止めて1分後に、まだ警戒度が高い状態のときは再びブザーが鳴ります。ブザー音が気になる時は、ブザー音量切替スイッチで、音量を小またはOFFに設定できます。警戒レベルの変化に気付きにくくなりますので、こまめに表示ボタンを押してLED表示をチェックするなど、十分にご注意ください。

④ 使わないときは「スリープモード」にします。

表示ボタンを3秒以上長押しすると、「スリープモード」になり、測定を停止し、LEDも消灯します。

使用するときは、表示ボタンを押すとすぐに「表示モード」に切り替わり、画面とLEDが表示・点灯します。

お部屋や車内でお使いになるときは、犬がいる場所の近くに置いてください。



警戒レベルと表示

LED表示部



警戒レベル	表示モード (10秒間)		モニタリングモード (通常時)	
	LED	ブザー	LED	ブザー
危険	赤点灯	連続音 (ビー)	赤点灯	連続音 (ビー)
厳重警戒 ※人用のみ	オレンジ点灯	断続音(ビッ、ビッ)	オレンジ点滅	断続音(ビッ、ビッ)
警戒	黄色点灯	なし	黄色点滅	なし
注意	緑点灯	なし	緑点滅	なし

熱中症の警戒度算出方法について

● 犬の熱中症の警戒度は、温度および湿度と、犬の身体状態との相対関係から、熱中症の警戒度を「危険」「警戒」「注意」の3段階で表示します。
本製品では、温度と湿度の測定結果から、熱中症の警戒度を簡易的に内部で計算し、LEDとブザーで表示しています。

● 人の熱中症警戒度は、黒球を使った湿球黒球温度 (WBGT) を温度基準に採用し、WBGTの温度レベルによって、「危険」「厳重警戒」「警戒」「注意」の4段階に分けて表示します。

温度基準 (WBGT)	注意すべき生活活動の目安	注意事項
危険 (31℃以上)	すべての生活活動で起こる危険性	高齢者においては安静状態でも発生する危険性が高い。外出はなるべく避け、涼しい室内に移動する。
厳重警戒 (28℃~31℃)	中等度以上の生活活動で起こる危険性	外出時は炎天下を避け、室内では室温の上昇に注意する。
警戒 (25℃~28℃)	強い生活活動で起こる危険性	運動や激しい作業をする際は定期的な休息を取り入れる。
注意 (25℃未満)		一般に危険性は少ないが激しい運動や重労働時には発生する危険性がある。

リードへの取り付け方

犬のお散歩の時に使用する際は、本製品をリードに取り付けます。

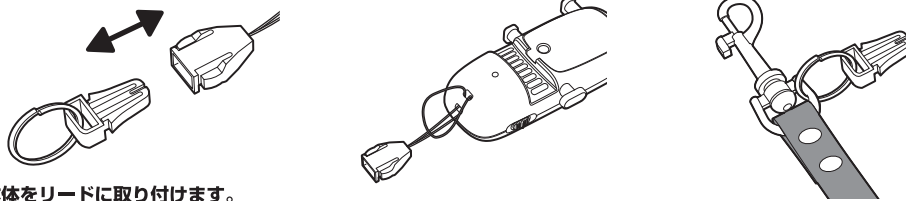
<リードの適応サイズ>

● 平ひもタイプ: 幅10~20mm、厚さ6mmまで ● 丸ひもタイプ: 直径15mmまで

※上記寸法以外のリードには取り付けできません。 ※リール巻取り式のリードには使用しないでください。
※本製品を首輪に取り付けますと、誤測定・誤動作を招く場合があります。必ずリードに取り付けて使用してください。

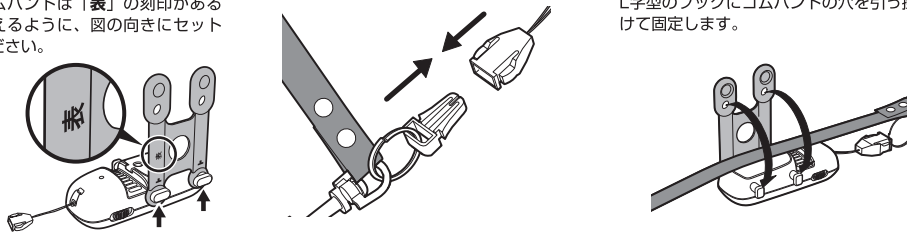
① 落下防止用ストラップ・リングを取り付けます。

1. 落下防止用ストラップのジョイント部分をつまんで、2つに分けます。
2. ストラップ穴に、落下防止用ストラップのひも側を通して取り付けます。
3. お手持ちのリードに、落下防止用ストラップのリングを取り付けます。



② 本体をリードに取り付けます。

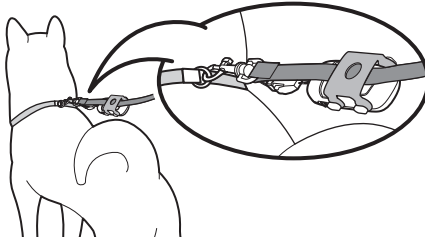
1. T字型のゴムバンド取付フックに、ゴムバンドの小さい穴の方を取り付けます。ゴムバンドは「表」の刻印がある側が見えるように、図の向きにセットしてください。
2. 落下防止用ストラップのジョイントをつなぎます。
3. 本体裏側にリードを沿わせて、ゴムバンドをリードの上からかぶせるようにしてL字型のフックにゴムバンドの穴を引っ掛けて固定します。



③ リードを犬に取り付けます。

※ゴムバンドがゆるくないか、ゴムバンドに亀裂や傷がないかを確認してから使用してください。

※使用しない時はリードから本製品を外して保管してください。



ペットキャリーやカート、バギー等に取り付ける際は、上記<リードの適応サイズ>に合う場所に取り付けてください。犬になるべく近い場所で、直射日光が当たる場所を避けて、風通しの良い場所を選んで取り付けてください。

仕様

測定範囲	温度: 0~+50℃ 湿度: 20~90%RH (上記下限値以下の場合「Lo」表示、上限値以上の場合「Hi」表示)
分解能	温度: 0.1℃ 湿度: 1%RH
測定精度	温度: ±1.5℃ (0~40℃)、±2℃ (左記以外) 湿度: ±10%RH
使用温湿度	0~+40℃、80%RH以下 (ただし結露のないこと)
保存温湿度	-10~+60℃、80%RH以下 (ただし結露のないこと)
電源	コイン型電池 (CR-2032) 1個
電池寿命	1日あたり約6時間使用した場合・・・約6ヶ月 連続使用時・・・約1,000時間 (通常モード時、ブザー音発生なしの場合) ※ご使用の環境や、表示確認の頻度によって異なります。
本体寸法	W 71 × D 20 × H 39 mm
付属品	ゴムバンド×1個 落下防止ストラップ・リング×1個 取扱説明書×1枚

犬の熱中症について

犬は人間よりも暑さが苦手な動物です。犬種や年齢により異なりますが、成犬にとつての適温は15~21度と言われています。人間にとっては快適な環境でも、犬も同じとは限りません。屋外だけでなく、車中や屋内での熱中症にも注意が必要です。特にエアコンをつけずに締め切った状態での留守番は絶対に避けてください。また、犬は地面に近いところにいるので、外出時は地表からの放射熱を受けやすいため注意が必要です。晴天時のアスファルト路面温度は気温より20度以上高くなることがあります。春先の晴天時や、夏の夕暮れなどは気付きにくいので要注意です。犬は汗をかいて熱を発散することができないため、呼吸で熱を発散するしかありません。高温・多湿の環境に長時間いた場合や、そういった環境下で激しい運動をした場合、熱中症になる危険性があります。特に短頭種(鼻の短いバグやシー・ズーなど)や高齢犬では、体温調節が上手くできないため、10分程度の短時間であっても要注意です。すぐに冷たい水で全身を濡らす、冷たいタオルで体を冷やすなどの対処をしてください。呼吸が落ち着かない、元気がない、ぐったりしている、けいれんを起こした、などの様子があれば大至急、動物病院を受診してください。

製品についてのご意見・お問い合わせ先

〒507-0062 岐阜県多治見市大針町657-1
ペットライン株式会社 お客様相談室
 TEL: 0572-20-1655
 受付: 月曜日~金曜日 (祝日、年末年始、夏季休業日を除く)
 午前 9:30~12:30、午後 13:30~16:30

※お問い合わせ内容により、ご回答までにお時間を頂戴する場合がございます。
 ※お客様からいただきましたお電話やお手紙の内容は、弊社の品質管理の向上や商品開発の一助とさせていただきます。
 ※病気や治療といった医療行為などに関する御相談につきましては、ご対応致しかねますのであらかじめご了承ください。

企画開発協力

鯉江 洋博士 (獣医学)

日本大学 生物資源科学部獣医学科
 獣医生理学研究室 准教授
 神奈川県獣医師会 理事
 専門は循環器生理学および下部泌尿器学。



小林 豊和 獣医師

動物に好かれる病院、動物の健康と長生きのサポートを理念とし、1993年にガラス動物病院を開院。予防医療中心の日々の健康管理から、より高度な専門性の高い医療まで、一生のホームドクターを目指している。犬猫に関する著書・監修誌も多数。

